



志清同友会
林 太樹 議員

丹南地域の都市間公共交通について

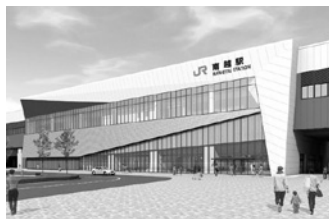
問 丹南圏域での観光客数の見通しは。

答 市長 北陸新幹線敦賀開業をにらみ、丹南地域周遊・滞在型観光推進計画を策定し、令和4年に700万人の目標は、西山公園が昨年度42万6千人で大幅に減少していることからコロナ禍での達成は困難。

丹南圏域に5つの伝統工芸産地が集積する特性を生かす近隣市町と一体となった産地間連携は重要。広域産業観光を推進することで、本市のブランド力向上につながる。産地間連携強化に積極的に取り組んでいく。

問 北陸新幹線「越前たけふ駅」への交通アクセスの整備は。

答 同駅は丹南唯一の新幹線駅として重要な玄関口。越前市の新駅周辺整備基本計画では、周辺市町とのアクセス手段はバス路線が想定されている。県においても、アクセス整備が新幹線開業効果を生かす重要な課題と捉え、市民ニーズに見合ったアクセス整備の在り方を検討していく。



北陸新幹線
「越前たけふ駅」



市民創世会
丹尾 廣樹 議員

平和祈念館について

終戦から76年、水落1丁目嶺北忠霊場に建設された福井県平和祈念館には鯖江歩兵第36連隊の関係資料や県内出身の陸海軍将兵の遺品等が集められ展示されている。だが、これら貴重な資料、遺品等を正しく次世代に引継ぐことにも問題がある。

問 平和祈念館には、水落児童館が併設され、さらに水落1.2丁目公民館としての併用もあり、また常駐者もいないため、貴重な資料等が散逸するおそれがないのか、心配である。

答 今日まで、県遺族連合会、市遺族連合会、そして福井県、鯖江市それぞれの立場

で管理。貴重な展示物、書籍等は、施錠する等、散逸の無いよう厳重に管理している。

問 全国に戦争の歴史と平和の大切さを考える資料館や展示施設は数多くある。本市にある平和祈念館では、その役割が地元でほとんど生かされていないのでは。

答 昨年1月館長の依頼を受け、文化課が資料や展示物の目録作成の手伝いを始めたと聞いている。なお、平和祈念館にある資料や展示物は、県遺族会連合会の所有物であり、今後、相談等があった場合には協力していきたい。



福井県平和祈念館



志清同友会
福原 敏弘 議員

高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の現状と地域共生社会の実現に向けた取組について

答 市では認知症の人が自分らしく生きられる地域づくりの主な事業として、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対し、できる範囲での手助けを行う認知症サポーター養成講座を、企業や区長会などの各種団体に対して出前講座として実施している。

また、軽度認知障害・認知症予防、および早期発見・早期対応の主な事業には、認知機能低下が疑われる人を対象に、物忘れ健診の受診勧奨を行っている。

地域共生社会実現に向け、高齢者の社会

参加を推進し、地域の助け合いを広げるため、地域の社会資源の支援を継続するとともに、高齢者だけでなく幅広い世代の市民がボランティア活動に参加するきっかけとして、介護予防サポーター養成講座や認知症サポーター養成講座、地域の助け合い応援講座などの機会を増やし、地域とのつながりを深めていく取組を一層充実させていきたい。



地域共生社会の実現に向けた取組は